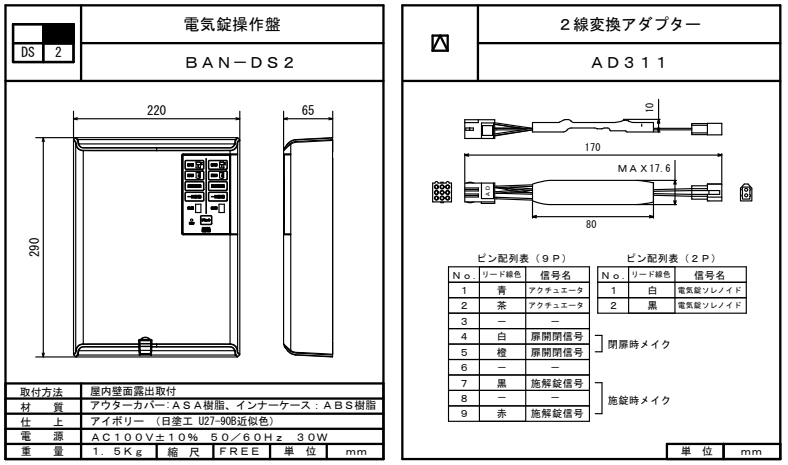
１．システム概要

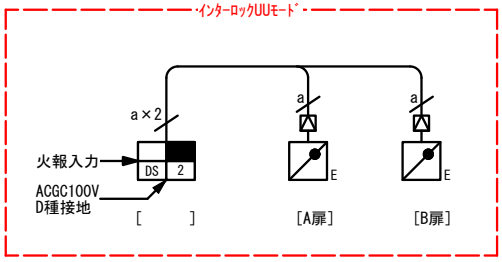
本電気錠システムは、電気錠扉２箇所を対象とします。
・電気錠２箇所と連動し、インターロック制御します。
※他社との連動に関しては、別途打ち合せが必要です。

（１）電気錠操作盤(BAN-DS2)を１台設置し、電気錠扉２箇所をインターロック制御します。
　　電気錠操作盤(BAN-DS2)は、
１）電気錠２回線のインターロック制御します。
２）各扉(電気錠)の状態(扉の開閉、施x解錠、警報)を操作盤面に表示します。
３）盤面操作により各扉(電気錠)を回線毎に「施錠保持または解錠保持／一回解錠(ＵまたはＬモード運用時)」できます。
　　但し、インターロック制御中に、盤面上で操作するとインターロック制御が出来なくなります。
４）火報盤からの火災発報信号により、制御している扉(電気錠)を一斉に解錠します。
　　復旧方法は、火報入力が切れた後、全扉を閉扉状態にし施解錠操作（キーで施錠、もしくは解錠ボタンを押す等）することで
　　インターロック制御状態に戻ります。

３．外観図



２．システム系統図



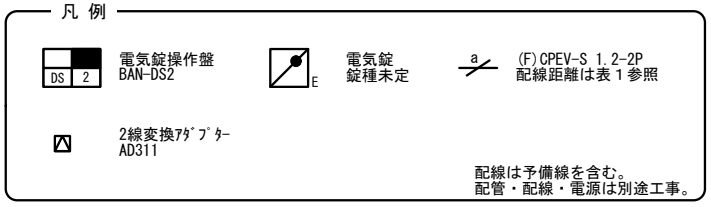
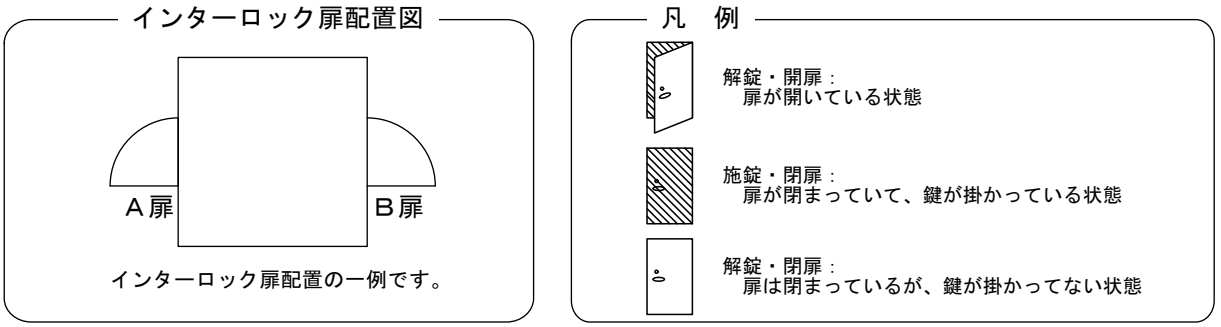
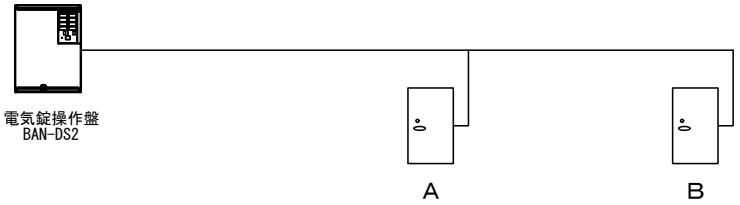


表１
配線距離　　適用:BAN-DS1, BAN-DS2, BAN-DS2C

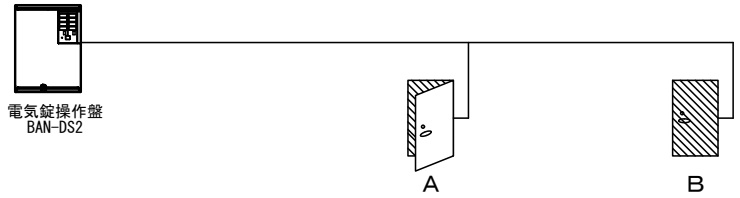
電気ｽﾄﾗｲｸ電気錠 ＼ 線径	電気錠～制御盤間 (m)				
	ASE	AL3M, AL4M AFF, AFG	ALA, ALG50 AUS, ANS	AUT(A), APPT(A), APBT AUR(A), APPR(A), APBR, EL-101 EM2L600, EML600, EML1200 ALGT, ALGR, AST, ASR, AD219	ASZ
DENｺｰﾄﾞ9C(0.3mm^2)	10	20	30	40	60
0.65mm	20	25	50	60	75
0.9mm	40	40	80	120	120
1.2mm	60	60	120	180	180



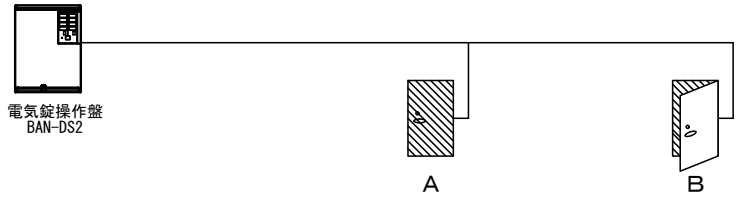
１）通常、待機時（Ａ・Ｂ扉、全て閉扉の時）、全ての扉は解錠しています。（初期状態）



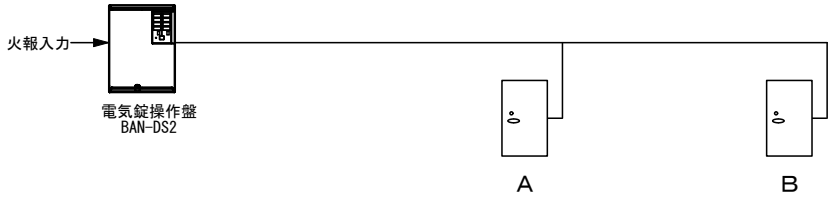
２）Ａ扉を開扉すると、Ｂ扉は施錠します。
　　Ａ扉が閉扉すると、初期状態に戻ります。



３）Ｂ扉を開扉すると、Ａ扉は施錠します。
　　Ｂ扉が閉扉すると、初期状態に戻ります。



４）火報信号を入力すると全ての扉は、一斉解錠し、インターロック制御しなくなります。
　　火報信号が切れ全ての扉が閉扉し、施解錠操作(キーで施錠もしくは解錠ボタンを押す等)すると
　　インターロック制御に戻ります。



※電気錠操作盤の盤面操作は
　行わないでください。
　インターロック制御が崩れます。

※複数の扉を同じタイミングで
　開扉させると、
　２扉以上開扉する事があります。

※扉のＵモード、Ｌモード設定および作動内容は
　電気錠操作盤の設定で変更可能です。
　詳細は電気錠操作盤の取扱説明書を参照ください。

作動説明書　ＵＵ